

#### 【利益相反とは】

利益相反（COI=Conflict Of Interest）とは、ある行為によって一方の利益になると同時に、他方への不利益になる状態を指します。臨床研究に係わる COI をマネジメントする目的は、当該研究者の経済的利益やその他の関連する利益（地位や利権など）の情報を開示することで、臨床研究が適切に行われているかを確認すること、また場合によっては、臨床研究が経済的利益などによって影響を受けないかを監視する目的もあります。特定企業・団体からの金銭等の受領透明化を図り、会員の COI を適正にマネジメントすることによって、研究者個人の適正な研究活動を保証するとともに、埼玉県臨床検査技師会の社会的信頼性を確保していくことになります。

#### 【自己申告の基準について】

自己申告が必要な基準は、医学研究に係わる 1 つの企業・団体から個人に対して、①年間 100 万円以上の報酬がある場合、②年間講師料あるいは原稿料が 50 万円以上の場合、③旅行・贈答品総額が年間 5 万円以上の場合、および所属する部署に対して年間 200 万円以上の寄付行為がある場合などです。

#### 【第 46 回埼玉県医学検査学会における申告の対象者について】

第 46 回埼玉県医学検査学会において利益相反の自己申告が必要な対象者は、発表・講演を行っていただく皆様となります。筆頭発表者は、配偶者、1 親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題発表に際して、医学研究に関連する企業や営利を目的とした団体との過去 1 年間における利益相反状態の有無を自己申告していただくことになります。

#### 【具体的な対応について】

自己申告の対象者は、下記『利益相反 自己申告スライド例』を参考に発表・講演時に自己申告をお願いいたします。

【利益相反 自己申告スライド例】

①利益相反：無しの場合

〇〇〇の検討について

△△病院 臨床検査部  
彩凜 華子

利益相反の有無：無  
※この演題に関連し、開示すべき  
COI 関係にある企業などはありません

②利益相反：有りの場合

〇〇〇の検討について

△△病院 臨床検査部  
彩凜 華子

利益相反の有無：有  
※この演題の発表に関連し開示すべき  
COI 関係にある企業名  
〇〇株式会社、△△製薬株式会社